iアプリ

iアプリとは 238
サイトからiアプリをダウンロードする 238
iアプリを実行する ..... 〈iアプリ実行〉 239
iアプリを自動実行する ..... 〈自動起動/自動起動設定〉 246
iアプリ待受画面を設定する ..... 〈iアプリ待受画面〉 247
iアプリを管理する 247
microSDメモリーカード内のiアプリデータを表示する ..... 〈iアプリデータ(microSD)〉 250
iアプリのさまざまな機能を利用する 251

iアプリとは

iアプリをサイトからダウンロードすることにより、iモード端末がさらに便利になります。たとえば、iモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しめたり、iアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などデータBOXと連動できるiアプリもあります。

- iアプリの詳細については、『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。
- 2in1のモードがBモードまたはデュアルモードのときは、利用できないiアプリがあります。

サイトからiアプリをダウンロードする

サイトからiアプリのソフトをダウンロードして保存できます。

- iアプリのソフトは1件あたり1Mバイトまで、最大100件保存できます。保存件数は、データにより少なくなることがあります。
- 電波状態などの理由によりダウンロードに失敗した場合は、そのソフトは未登録となります。
- メール連動型iアプリをダウンロードするときに、メール連動型iアプリのメールフォルダが5個ある場合や、同じメールフォルダを利用するソフトがすでにある場合は、ソフトをダウンロードできません。

1 サイトを表示中にソフトを選び を押す

ソフトがダウンロードされます。

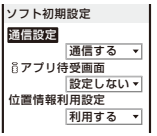
ダウンロード確認画面が表示される場合

[はい]または[ダウンロードする]を選択します。

2 フォルダを選び を押す

選択したフォルダにダウンロードしたソフトが保存されます。

3 ソフト初期設定を行う



- ソフトによっては、変更できない項目があります。

ソフト起動時に自動的に通信する場合

[通信設定]→[通信する]を選択します。

- 設定した内容は、個別設定の通信設定・待受画面通信設定に反映されます。(P.241)

iアプリ待受画面に設定する場合

[iアプリ待受画面]→[設定する]を選択します。

位置情報を利用する場合

[位置情報利用設定]→[利用する]を選択します。

4 (完了)を押す

ソフトを実行するかどうかを確認する画面が表示されます。

5 [はい]を選び を押す

ダウンロードしたソフトが起動します。

- お買い上げ時に登録されているソフトを削除した場合は、「PlayNow by SO」からダウンロードできます。
  [iMenu]→[メニュー/検索]→[ケータイ電話メーカー]→[PlayNow by SO]
- ダウンロードするときに「携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号を送信します」と表示されることがあります。ダウンロードする場合は[ダウンロードする]を選択します。この場合、お客様の「携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号」は、インターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。
- ダウンロードするときに「登録データを利用します」と表示されることがあります。利用される登録データは、[説明]を押して確認できます。ダウンロードする場合は[ダウンロードする]を選択します。この場合、お客様の登録データがiアプリに利用されます。

- おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロード中にICカード機能をロックすると、ダウンロードが中断されます。
- メール連動型ｉアプリをダウンロードした場合、送信メール、受信メール、保存メール一覧にメール連動型ｉアプリ用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名がつき、変更できません。
- メール連動型ｉアプリをダウンロードするときに、利用するメールフォルダのみが残っている場合は、そのフォルダを利用できます。フォルダ名がダウンロードしたｉアプリ名と異なる場合は、ダウンロードしたｉアプリ名に変更されます。フォルダを利用しない場合は、フォルダを削除して新規フォルダを作成できます。ただし、新規フォルダを作成しない場合はメール連動型ｉアプリをダウンロードできません。
- ICカード内のデータ容量によっては、メモリの空き容量があってもおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできないことがあります。表示される確認画面に従い、ソフトを削除してから再度ダウンロードしてください。（ソフトによって、一部のソフトが削除対象にならないことがあります）また、ソフトによっては、ソフトの削除前にソフトを起動してICカード内のデータを削除する必要があります。

ダウンロード時にｉアプリの情報を見る

サイトからｉアプリのソフトをダウンロードするときにソフト情報を表示できます。

1 メニューで[ｉアプリ]→[ｉアプリ設定]→[ソフト情報表示]を選び ☰ を押す

2 [表示する]/[表示しない]を選び ☰ を押す

ソフト情報表示が設定されます。

ｉアプリを実行する

〈ｉアプリ実行〉

ｉアプリのソフトを手動で実行します。

1 待受画面で ｉ（ｉモード）を1秒以上押す

ｉアプリフォルダ一覧画面が表示されます。

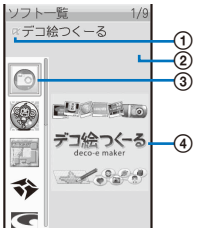
- フォルダの種類は次のアイコンで確認できます。

(黄)	お買い上げ時に用意されているフォルダ
(青)	お客様が作成したフォルダ

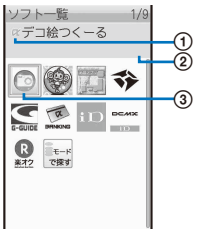
次ページにつづく

2 フォルダを選び [メニュー] を押す

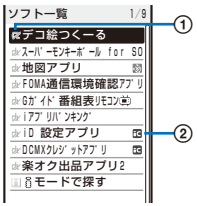
アイコン表示大



アイコン表示小



リスト



① (): iアプリ待受画面対応ソフト(設定中)

(): iアプリDX待受画面対応ソフト(設定中)

(): メール連動型iアプリ待受画面対応ソフト(設定中)

※: iアプリ待受画面非対応ソフト

※: iアプリDX待受画面非対応ソフト

※: メール連動型iアプリ待受画面非対応ソフト

: iモードで探す

※ 途中までダウンロードしたソフトは、アイコンの右下に「▬」が表示されます。

② (): おサイフケータイ対応iアプリのソフト(サービス停止中)

SSL: SSLサイトからダウンロードしたソフト

: GPS対応iアプリのソフト

: 自動起動が設定されているソフト

③ソフトのアイコン画像

- ソフトごとに登録されているアイコン画像が表示されます。アイコン画像が登録されていない場合は、次のアイコンが表示されます。
  - : iアプリのソフト
  - : iアプリDXのソフト
  - : おサイフケータイ対応iアプリのソフト

④選択されているソフトのタイトル画像

- ソフトごとに登録されているタイトル画像が表示されます。タイトル画像が登録されていない場合は、次のアイコンが表示されます。
  - : iアプリのソフト
  - : iアプリDXのソフト
  - : おサイフケータイ対応iアプリのソフト

3 ソフトを選び [メニュー] を押す

ソフトが起動し、「」または「」が表示されます。

iアプリを終了する場合

[終了] を押し、[はい]を選択します。

情報を確認する場合

ソフトにカーソルをあわせ、機能メニュー[ソフト情報表示]を選択します。

- 表示される項目は、ソフトによって異なることがあります。
- ソフト情報表示に表示されるiアプリのソフト名は変更できません。

証明書を表示する場合

ソフトにカーソルをあわせ、機能メニュー[証明書表示]を選択します。

- サイトからすぐに起動するソフトがあります。このとき、ソフトはダウンロードされていますが、保存はされていません。また、ダウンロードによる保存ができないソフトもあります。
- サイトからすぐに起動するソフトは、実行中に通信設定が必要なことがあります。
- ソフト実行中にめざまし時計/スケジュールアラームのアラーム時刻になった場合は、ソフトを中断します。元の画面に戻る場合は [☎] または [CLR] を押してください。
- ソフト実行中に音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信があったときは、ソフトを中断して応答することができます。通話を終了すると元の画面に戻ります。なお、iアプリからの通信中にテレビ電話を着信した場合はパケット通信中着信設定、プッシュトーク着信した場合はiモード通信中着信設定の設定に従います。
- ソフト実行中にメール・メッセージ・エリアメールを受信した場合、「✉」「R」「F」「📢」が表示されます。
  また、メール選択受信設定を[ON]に設定している場合、ソフト実行中にメールを受信すると「F」が表示されます。待受画面を表示すると「F」(センターに✉あり)が表示されます。メールを確認する場合は、メール選択受信を行ってください。(P.215)
- iアプリで利用する画像※やお客様が入力したデータなどが自動的にインターネットを経由しサーバに送信される可能性があります。
  ※ iアプリで利用する画像とは、カメラ連携(連動)のiアプリからカメラを起動して撮影した画像、iアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像、iアプリがサイトやインターネットホームページ経由で取得した画像、iアプリがデータBOXから取得した画像などです。
- ソフトによっては、microSDメモリーカードにデータを保存できるものがあります。microSDメモリーカードに保存したデータは、他の機種で利用できないことがあります。
- iアプリには指定されたソフトを起動するソフトがあり、一覧に戻ることなくソフトを楽しむことができます。起動するソフトが指定されていない場合は、ソフトを選択する必要があります。また、起動するソフトが指定されていても、ソフト一覧にない場合はダウンロードする必要があります。
- ソフトによっては、ミュージックプレーヤー、Music&Videoチャネルと同時起動できないものがあります。
- ソフトによっては、全画面表示されるものがあります。全画面表示中は、通信中アイコン以外のアイコンは表示されません。

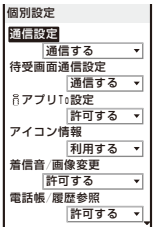
iアプリの動作条件を設定する

- 保存されているソフトによって、変更できない項目があります。

1 iアプリソフト一覧画面でソフトを選び [✉](機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [個別設定]を選び [≡] を押す



[通信設定]:
通信を利用するソフトを起動したときに、通信するかどうか、起動ごとに確認するかを設定します。

[待受画面通信設定]:
通信を利用するソフトをiアプリ待受画面に設定中に、通信するかどうかを設定します。

[iアプリTo設定]:
表示されているiアプリのリンクからソフトを起動するかどうかを設定します。

[アイコン情報]:
アイコン情報(メール、メッセージ、電波受信レベル、電池残量、マナーモード)を利用するかどうかを設定します。

次ページにつづく

[着信音/画像変更]:
着信音や画像の変更を許可するかどうか、変更ごとに確認するかを設定します。

[電話帳/履歴参照]:
電話帳、リダイヤル、着信履歴、未読メール、トルカの参照を許可するかどうかを設定します。

[位置情報利用設定]:
位置情報を利用するかどうかを設定します。

3 各項目を設定する

- 通信設定、待受画面通信設定を[通信しない]に設定すると、ソフトが起動しないことやタイムリーな情報提供ができないことがありますのでご注意ください。
- 通信設定、待受画面通信設定を[通信する]に設定すると、iアプリが自動的にネットワークに接続します。ネットワークに接続したときはパケット通信料がかかりますのでご注意ください。
- アイコン情報を[利用する]に設定すると、アイコン情報がお客様の「携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号」と同様にインターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。
- 個別設定の設定によっては、iアプリからのネットワーク接続やアイコン情報(未読メール、電池残量など)の利用ができなくなります。

お買い上げ時に登録されているソフト

●デコ絵つくーる™

カメラで撮影した静止画の一部を加工・編集したり、自分で絵を描いたりして、デコレーションメールに使用できる素材を作成できます。作成した画像はデータBOXに保存され、メールを作成するときに使用することができます。

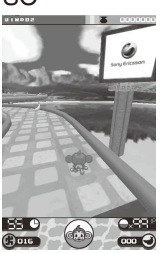
カメラ撮影からつくる
カメラで撮影した静止画を加工・編集して、デコメピクチャやデコメ絵文字を作成します。
絵や文字と背景の明暗がくっきり分かれ、背景が単色(均一)の画像を撮影すると、きれいに編集することができます。

自分で描いてつくる
さまざまな線や色、塗りつぶし機能、背景透過機能などを使用して、デコメ絵文字を作成します。また、アニメ絵文字も作成することができます。

保存データからつくる
データBOXに保存されたデータを加工・編集して、デコメピクチャやデコメ絵文字を作成します。

- 操作方法については、「ヘルプ」をご覧ください。
  [ヘルプ]を選んで ▤ を押すと表示されます。

●スーパーモンキーボールモバイル for SO



©SEGA

家庭用で大人気のアクションゲーム「スーパーモンキーボール」の携帯アプリです。
おサルのキャラクターが入ったボールを転がしてゴールをめざすアクションゲームです。
様々なワールド(場面)と多彩なステージをクリアして最終ゴールを目指します。

SO905iCSを傾けて操作する場合
FOMA端末を上下左右に傾けることで、FOMA端末の4方向ボタンと同じ操作ができます。
FOMA端末を傾けた方向におサルの入ったボールが転がります。

プレイヤーが動いて操作する場合

インカメラでプレイヤーの位置を確認し、プレイヤーが動いた方向にボールも転がります。

- 操作方法については、「スーパーモンキーボールの遊び方」をご覧ください。
  メニューで[データBOX]→[マイドキュメント]→[プリインストール]→[スーパーモンキーボールの遊び方]を選び ▭ を押すと表示されます。

■警告

このアプリは、FOMA端末を傾けたり振ったりして遊ぶゲームです。振り過ぎなどが原因で、人や物などにあたって事故や破損などにつながる可能性があります。
遊ぶ際は、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り過ぎず、周囲の安全を確認して遊びましょう。

●地図アプリ

現在位置を確認したり、住所や電話番号から地図を検索したり、目的地までナビゲーションを利用したりできます。GPS機能を利用するiアプリです。(P.264)

- GPS対応iアプリを利用すると、利用するiアプリのIP(情報サービス提供者)に位置情報が送信されます。
- GPS対応iアプリでGPS機能を利用する場合、利用するiアプリの位置情報利用設定を[利用する]に設定する必要があります。

●FOMA通信環境確認アプリ

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

FOMA通信環境確認アプリとは、FOMA端末がFOMAハイスピードエリアを利用できるかどうかを確認するアプリです。

- FOMA通信環境確認アプリを利用する際は、「ご利用上の注意」に同意した上でご利用ください。
- 通信環境確認時の通信環境(天候や電波状態、ネットワークの混雑状況など)によっては、同一の場所・時間帯であっても、異なる結果や圏外である旨の結果が表示される場合があります。
- 本アプリのご利用中に他の機能を利用すると正しく確認できない場合があります。

●Gガイド番組表リモコン

※画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

テレビ番組表とAVリモコン機能が1つになった月額利用料が無料の便利アプリです。
知りたい時間の地上デジタル、地上アナログ、もしくはBSデジタルのテレビ番組情報をいつでもどこでも簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始/終了時間などを知ることができます。
気になる番組があったら、インターネットを通じて番組をDVDハードディスクレコーダーに録画予約をすることができます。(リモート録画予約機能に対応しているDVDハードディスクレコーダーが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です)
さらにテレビのジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索が可能です。また、テレビ・ビデオ・DVDプレイヤーのリモコン操作ができます。(一部対応していない機種もあります)

- 初めて利用するときは、初期登録を行って利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用時は、FOMA端末の時刻を日本時間にあわせてください。
- Gガイド番組表リモコンの詳細については『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。
- メールを利用するiアプリのため、2in1のBモードでは利用できません。

次ページにつづく

リモート録画予約機能について

リモート録画予約に対応しているDVDハードディスクレコーダーをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約をすることができます。

リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。

- 初期設定の方法
  1. DVDハードディスクレコーダーにインターネット接続の設定をしてください。（ご利用のDVDハードディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください）
  2. 本アプリを立ち上げ、メニューから「リモート録画予約」を選択するとガイダンスが表示されますので、ガイダンスに従って初期設定を進めてください。
- 番組予約の方法

  初期設定が完了したあと、お好きな番組を指定してメニューから「リモート録画予約」を選択すると、インターネット経由で本アプリで設定したDVDハードディスクレコーダーと接続し、録画予約をすることができます。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

● i アプリバンキング

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

モバイルバンキングを便利にご利用いただくためのｉアプリです。モバイルバンキングとは、携帯電話からご自身の口座の残高照会や入出金明細の確認、振込・振替などをいつでもどこでも利用できるサービスです。ｉアプリを立ち上げる際に、ご自身で設定したパスワードを入力するだけで、最大2つまでの金融機関のモバイルバンキングをご利用いただけます。

- モバイルバンキングを利用するには、対応金融機関の口座と、各金融機関のモバイルバンキングサービスへのお申し込みが必要になります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- ｉアプリバンキングの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- ｉアプリバンキングに関する情報は、ｉモードサイトをご覧ください。

  ｉモードサイト：

  [ｉMenu]→[メニュー/検索]→[モバイルバンキング]→[ｉアプリバンキング]

●iD 設定アプリ

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

チャージいらずの電子マネー「iD」とは、おサイフケータイや「iD」を搭載したクレジットカードをかざすだけでショッピングができるサービスです。今までのようにサインをすることなく、簡単・便利にショッピングができます。カード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- 「iD」のご利用には、iDに対応した各カード発行会社へのお申し込みのほか、iDアプリと各カード発行会社提供のカードアプリにより所定の設定を完了したおサイフケータイまたは「iD」を搭載したクレジットカードが必要になります。
- おサイフケータイで「iD」をご利用の場合、iDアプリを起動して「ご利用上の注意」にご同意いただき、iDアプリ側の所定の設定を完了のうえ、カードアプリをダウンロードまたは起動し、カードアプリ側の所定の設定を行う必要があります。
- iD対応のサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、各カード発行会社により異なります。
- iDアプリおよびカードアプリをダウンロードするにはパケット通信料がかかります。
- 「iD」に関する情報については、「iD」のｉモードサイトをご覧ください。

  ｉモードサイト：

  [ｉMenu]→[メニュー/検索]→[iD]

●DCMXクレジットアプリ

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

「DCMX」とは、「iD」に対応した、エヌ・ティ・ティ・ドコモグループが提供するクレジットサービスです。DCMXには、月々1万円まで利用できるDCMX miniと、DCMX miniよりたくさん使えてドコモポイントもたまるDCMXの各サービスがございます。
DCMX miniなら、本アプリからの簡単なお申し込みで今すぐケータイクレジットがご利用いただけます。

アプリの機能

入会申し込み・審査※1

↓

カード情報設定

↓

使う
面倒なチャージは不要！
設定済みケータイを店頭の読み取り機にかざすだけで、サインレス※3でショッピングが楽しめます。

確認する※2
当月のご利用可能残額やご利用明細もアプリから確認！

変更する
お使いのカードの更新および機種変更の際にもアプリから設定可能！

※1 DCMX miniはお申し込み時にオンラインで入会審査をさせていただきます。また、DCMX mini以外のお申し込みについてはｉモードのお申し込みページに接続します。

※2 ご利用状況などの確認機能は、DCMX miniのみ可能です。

※3 一定の条件で暗証番号の入力が必要な場合があります。

- サービス内容やお申し込み方法の詳細については、DCMXのｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：［ｉMenu］→［DCMX iD］

●本アプリを初めて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意の上、ご利用ください。
●各種設定、操作時にはパケット通信料がかかります。

おサイフケータイ対応ｉアプリに関するご注意

●ICカードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●楽オク出品アプリ2

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

「楽オク出品アプリ2」は、楽オクにいつでもどこでも簡単に出品できる便利なアプリです。ガイド表示付きで、初めて出品する方にもわかりやすく使えます。また写真撮影・編集や履歴の保存など便利な機能もあり、サイトからの出品よりも短時間で出品することができます。

- 初めてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 楽オクの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 楽オクで出品をするには楽天会員登録と出品者登録が必要になります。
- 楽オクに関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：
  ［ｉMenu］→［楽オク -オークション-］

iアプリを自動実行する

〈自動起動/自動起動設定〉

自動起動するかどうかを設定する

ソフトを自動的に起動するかどうかを設定できます。

1 メニューで[iアプリ]→[iアプリ設定]→[自動起動]を選び を押す

2 [許可する]/[許可しない]を選び を押す

自動起動するかどうかが設定されます。

起動日時を設定する

ソフトは自動的に起動できます。ソフトごとに起動日時、曜日の条件を設定したり、ソフトの自動起動機能を使用するかどうかを設定できます。

1 iアプリソフト一覧画面でソフトを選び (機能)を押す

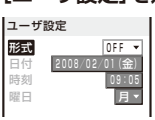
機能メニューが表示されます。

2 [自動起動設定]を選び を押す

[ユーザ設定]:
ソフトごとの起動日時や曜日を設定します。

[ソフト設定]:
ソフトの自動起動機能で自動起動するかどうかを設定します。

3 [ユーザ設定]を選び を押す



4 [形式]に自動起動時間の形式を選択する

[OFF]:
起動時間を設定しません。

[日時]:
指定した日時に自動起動します。

[毎日]:
毎日指定した時刻に自動起動します。

[毎週]:
毎週指定した曜日の指定した時刻に自動起動します。

5 日付/時刻/曜日を入力する

- 操作4で選択した形式にあわせて日付/時刻/曜日を入力してください。

6 (完了)を押す

7 [ソフト設定]を選び を押す

ソフト設定画面が表示されます。

8 [設定]にソフトの自動起動機能の[有効]/[無効]を選択する

自動起動設定が設定されます。

● 以下の場合は自動起動できません。
- 電源OFF時
- 通話中、通信中
- 日付時刻を設定していないとき
- 他の機能を起動しているとき
- 同じ時刻にめざまし時計/スケジュールアラームを設定しているとき
- オールロック設定中、パーソナルデータロック設定中
- ボタンロック設定中
- おまかせロック設定中
- 2in1のモードがBモードのとき(メール連動型iアプリ、メールを利用するiアプリの場合)

iアプリ待受画面を設定する

〈iアプリ待受画面〉

iアプリ待受画面には、対応しているソフトを1つのみ設定できます。iアプリ待受画面に対応しているソフトとは、「/」が表示されるものです。

- 通信を利用するソフトをiアプリ待受画面に設定した場合は、電波状態などにより正しく動作しない場合があります。
- iアプリソフト一覧画面からiアプリ待受画面を設定した場合、待受画面設定で設定した待受画面も変更されます。

1 iアプリソフト一覧画面でソフトを選び (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [待受画面設定]→[はい]を選び を押す

iアプリ待受画面が設定され、アイコン表示(P.240)が変わります。

iアプリ待受画面に設定したソフトを操作する場合

iアプリ待受画面で CLR (戻る)を押します。

- iアプリの待受画面を設定している場合は、電源を入れたときにiアプリ待受画面を起動するかどうかの確認メッセージが表示されます。起動しない場合は[いいえ]を選択します。[はい]を選択するか、しばらくそのままにしておくと、iアプリ待受画面が起動します。
- iアプリ待受画面を設定中にオールロック、パーソナルデータロックを設定したり、2in1のモードをデュアルモードやBモードに設定したりすると、iアプリ待受画面は一時的に解除されます。オールロックなどを解除すると、iアプリ待受画面が再表示されます。
- iアプリ待受画面からWeb Toはご利用になれません。
- iアプリ待受画面が解除されるようなエラーが発生した場合、エラー発生時刻などが待受エラー履歴で確認できます。
- iアプリ待受画面にセキュリティエラーが発生した場合、待受画面に「」(待受解除 セキュリティエラー)が表示されます。

iアプリ待受画面を解除する

iアプリ待受画面の設定を解除して、通常の待受画面に戻します。

1 iアプリソフト一覧画面でソフトを選び (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [待受画面設定]→[解除する]を選び を押す

[終了する]:
iアプリ待受画面を解除せずに、iアプリ待受画面を一度終了して再表示します。

[解除する]:
iアプリ待受画面を解除します。

iアプリ待受画面が解除されます。

iアプリを管理する

- ソフトによっては、IP(情報サービス提供者)が携帯電話に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にすることがあります。この場合、ソフトの起動、待受画面設定、バージョンアップなどができなくなり、削除、ソフト情報表示のみ行えます。再度ご利用いただくには、ソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IP(情報サービス提供者)にお問い合わせください。
- ソフトによっては、IP(情報サービス提供者)が携帯電話に保存されたソフトにデータを送信することがあります。
- IP(情報サービス提供者)がソフトに対し、停止/再開要求を行ったり、データを送信した場合、携帯電話は通信を行い「」が点滅します。パケット通信料はかかりません。

次ページにつづく

バージョンアップする

ダウンロードしたソフトの新しいバージョンがサイトにある場合は、保存したソフトをバージョンアップできます。

1 iアプリソフト一覧画面でソフトを選び (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [バージョンアップ]→[はい]を選び を押す

新しいバージョンのソフトのダウンロードが開始されます。

- ソフトによっては起動時に自動でバージョンアップすることができます。
- バージョンアップ時にネットワークに接続したときはパケット通信料がかかりますのでご注意ください。

フォルダを追加/削除する

ソフトを保存するフォルダを作成したり削除したりできます。ソフトは最大10個のフォルダで管理できます。また、フォルダの名称も変更できます。

- お買い上げ時に用意されているフォルダは削除できません。

例：フォルダを追加する場合

1 待受画面で (iモード)を1秒以上押し、(機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [フォルダ操作]→[フォルダ作成]を選び を押し、フォルダ名を入力する

全角10文字、半角20文字以内で入力します。フォルダが追加されます。

フォルダ名を変更する場合

フォルダにカーソルをあわせ、機能メニュー[フォルダ操作]→[フォルダ名変更]を選択します。全角10文字、半角20文字以内で入力します。

フォルダを削除する場合

フォルダにカーソルをあわせ、機能メニュー[フォルダ操作]→[フォルダ削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

別のフォルダへ移動する

ソフトは3とおりの方法で別のフォルダへ移動できます。

例：ソフトを1件ずつ移動する場合

1 待受画面で (iモード)を1秒以上押し、フォルダを選び を押す

フォルダ内をすべて移動する場合

機能メニュー[移動]→[フォルダ内全件移動]→[はい]→フォルダを選択します。

複数選択して移動する場合

機能メニュー[移動]→[選択移動]を選択し、ソフトを複数選択して (完了)を押し、[はい]→フォルダを選択します。

2 ソフトを選び (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

3 [移動]→[1件移動]→[はい]を選び を押す

移動先フォルダ選択画面が表示されます。

4 フォルダを選び を押す

選択したソフトが別のフォルダへ移動します。

削除する

ソフトは4とおりの方法で削除できます。

例：1件ずつ削除する場合

1 待受画面で i（iモード）を1秒以上押す

すべて削除する場合

機能メニュー［全件削除］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。

2 フォルダを選び ▤ を押す

フォルダ内をすべて削除する場合

機能メニュー［削除］→［フォルダ内全件削除］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。

複数選択して削除する場合

機能メニュー［削除］→［選択削除］を選択し、ソフトを複数選択して i（完了）を押し、［はい］を選択します。

3 ソフトを選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

4 ［削除］→［1件削除］→［はい］を選び ▤ を押す

選択したソフトが削除されます。

- メール連動型iアプリを削除する場合やメール連動型iアプリを含むソフトを全件削除する場合、自動的に作られたメールフォルダを同時に削除するかどうかを選択できます。ただし、同時に削除するときにメール連動型iアプリのフォルダ内に保護設定されているメールがある場合は、ソフトもフォルダも削除できません。また、ソフトのみ削除しフォルダを残した場合は、機能メニューからメール本文のみ見ることができます。(P.224)
- おサイフケータイ対応iアプリを削除する場合、ソフトによっては削除できないことがあります。また、ソフトの削除前にソフトを起動してICカード内のデータを削除する必要があることもあります。
- ICカードロック設定中は、おサイフケータイ対応iアプリを削除できません。

ソフト一覧の表示方法を設定する

iアプリソフト一覧画面の表示方法を3種類から選択できます。設定した表示方法は、すべてのフォルダに反映されます。

アイコン表示大

アイコン表示小

リスト

1 iアプリソフト一覧画面で ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 ［一覧表示切替］→表示方法を選び ▤ を押す

iアプリソフト一覧画面の表示方法が設定されます。

次ページにつづく

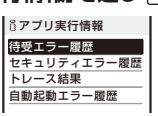
エラー履歴やトレース結果を見る

iアプリ待受画面のエラー履歴や、iアプリのトレース機能で出力された結果を表示できます。

待受エラー履歴	iアプリ待受画面が続行できないなどのエラーで解除された場合に、エラー発生時刻などの履歴を10件まで表示します。
セキュリティエラー履歴	iアプリが登録データを利用できないなどのエラーで終了した場合に、エラーの発生時刻などの履歴を10件まで表示します。
トレース結果	トレース機能に対応したiアプリが終了した場合に、トレース結果を16件まで表示します。
自動起動エラー履歴	iアプリが自動起動に失敗した場合に、エラー発生時刻などの履歴を10件まで表示します。

例：[待受エラー履歴]を表示する場合

1 メニューで[iアプリ]→[iアプリ実行情報]を選び ▭ を押す



2 [待受エラー履歴]を選び ▭ を押す

セキュリティエラー履歴を表示する場合
[セキュリティエラー履歴]を選択します。

トレース結果を表示する場合
[トレース結果]を選択します。

自動起動エラー履歴を表示する場合
[自動起動エラー履歴]を選択します。

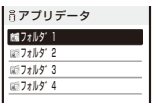
エラー履歴やトレース結果を削除する場合
(削除)を押し、[はい]を選択します。

● iアプリ作成者の方へ
ソフト作成中に正常動作しないときは、トレース結果が参考になることがあります。

microSDメモリーカード内のiアプリデータを表示する 〈iアプリデータ(microSD)〉

microSDメモリーカードに保存されているiアプリデータをフォルダ名で表示します。

1 メニューで[iアプリ]→[iアプリデータ(microSD)]を選び ▭ を押す



iアプリデータ(microSD)フォルダー覧画面が表示されます。

フォルダを削除する場合
フォルダにカーソルをあわせ、機能メニュー[フォルダ削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 フォルダを選び ▭ を押す
ソフト情報表示画面が表示されます。

iアプリのさまざまな機能を利用する

iアプリからカメラ機能を利用する

起動中のソフトからカメラ機能(P.155)を利用できます。

- カメラ機能を利用するときはレンズカバーを開いてください。
- 撮影した画像はソフトで利用・保存されます。
- 設定できる項目やカメラの起動方法はソフトによって異なります。
- 接写モードの指定があるソフトからカメラを起動した場合、オートフォーカス設定は[マクロ]になります。

1 ソフト実行中にカメラ機能を起動する

カメラモードの画面になります。

2 被写体を確認し、(カメラ)を押す

画像が撮影されます。

iアプリからバーコードリーダーを利用する

起動中のソフトからバーコードリーダー(P.183)を利用できます。

- バーコードリーダーの起動方法はソフトによって異なります。
- 読み込んだデータはソフトで利用される場合があります。

1 ソフト実行中にバーコードリーダーを起動する

バーコードリーダー画面が表示されます。

2 JANコード/QRコードを確認し、(メニュー)を押す

JANコード/QRコードが読み取られます。

iアプリから赤外線通信を利用する

起動中のソフトから赤外線通信(P.327)を利用できます。

- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。
- 赤外線通信の起動方法はソフトによって異なります。

1 ソフト実行中に赤外線通信を起動する

2 [はい]を選び(メニュー)を押す

赤外線通信を開始します。

iアプリからトルカを取得する

起動中のソフトからトルカ(P.256)を取得して保存できます。

- トルカは1件あたり1Kバイトまで、トルカ(詳細)は1件あたり100Kバイトまで、最大100件取得できます。取得件数は、データにより少なくなることがあります。
- トルカの取得方法はソフトによって異なります。

1 ソフト実行中にトルカを選び(メニュー)を押す

保存確認画面が表示されます。

2 [はい]を選び(メニュー)を押す

トルカが取得されます。

iアプリからめざまし時計を登録する

起動中のソフトからめざまし時計(P.360)を登録できます。

1 ソフト実行中にめざまし時計の登録操作を行う

2 [OK]を選び(メニュー)を押す

めざまし時計が登録されます。